

【キーワード】

〔施設種別〕 高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 ()
 〔運営主体〕 市区町村 法人 NPO 個人 (補助金) 内閣府 国土交通省 厚生労働省 ()
 〔建物形式〕 1棟単体型 複数棟集合型 団地型 (建物状況) 新築 増築 改修 一部改修 既存
 〔対象者〕 高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. 園庭

砧南らる保育園は区立中学校の建物内にあり、明るい園舎と自然が残る、のどかな地域環境に恵まれている。そのため、隣接中学校をはじめ、近隣高齢者施設や地元農家など様々な交流・連携を行っている。それに加え、保育にリトミックや英語教育、モンテッソーリ教育などを導入し、子どもが主体的に自然と成長できる環境が整っている。

■施設概要

保育方針：「あかるく」「たくましく」「集中できる」子どもに。

施設種別：認証保育所

所在地：東京都世田谷区鎌田3丁目13番20号

運営主体：(株)日本デイケアセンター

設立年月：平成14年3月1日

園舎総面積：237.6㎡

園庭面積：120.92㎡

構造：鉄筋コンクリート造

開園日：月～土（祝日・年末・年始を除く）

開園時間：7:15～18:00 延長保育は20:30まで

対象児童：0歳から小学校就学前（施設により異なる）で、月160時間以上の保育を必要とする方。

定員：30名（令和2年7月現在）

（0歳児：10名，1歳児：10名，2歳児：10名）

■運営概要

平成13年当時、砧南中学校周辺は特に待機児童が多かったことから、余裕教室を活用して保育所を整備した。保育所利用に伴い、水回りを整備するために床を高く整備したり、学校部分とは耐火構造壁で区画したり、学校部分との間に扉を設置したりした。

当園は多様な保育時間コースや、月極の契約でなくてもスポットで利用できる一時預かり保育も設けている。



写真2. 周辺状況（出典：国土地理院*）2019.11.01
東急田園都市線・大井町線二子玉川駅からバスで約10分のばしてに位置する。周囲には住宅が多く、学校などの公共施設が充実している。



写真3. 保育室

子どもの目線から見ると、内装の約70%は木質になっている。

参考文献

- 1) 世田谷区 HP < <https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kusei/012/003/007/004/d00011886.html> > 2020.09.02 参照
 - 2) 施設見学 2010.11.16
 - 3) 砧南保育園 HP < <https://n-daycare.wixsite.com/kinutaminami> > 2020.09.02 参照
 - 4) とうきょう福祉ナビゲーション 福祉サービス 第三者評価 < http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/controller?cmd=lst_dt&actionID=jgytik&SVCSBR_CD=032&JGY_CD=1311200602&ROW=0&JGY_CD1=&JGY_CD2=&JGY_CD3=&JGY_CD4=&JGY_CD5=> > 2020.09.02 参照
 - 5) 文部科学省 HP < https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/013/toushin/1364500.htm > 2020.09.02 参照
- * 国土地理院 < <https://maps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1> >

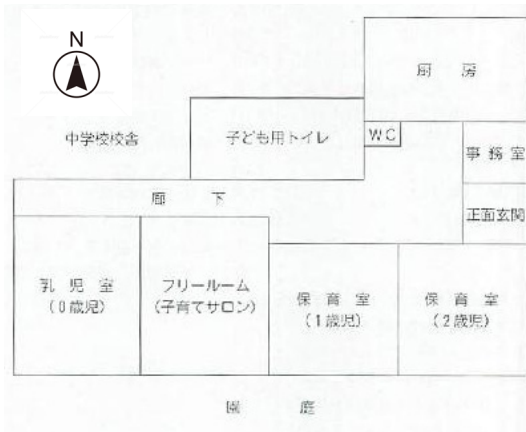


図1. 平面図 (世田谷区 HP から引用)
南側の園庭に面している側に保育室や子育てサロン、乳児室を配置している。

職員数：14名 (令和2年7月現在)

〔施設長：1名, 保育士：7名 (常勤換算した非常勤職員及びパート4名), 栄養士：1名, 調理：0名 (常勤換算した非常勤職員及びパート1名)〕

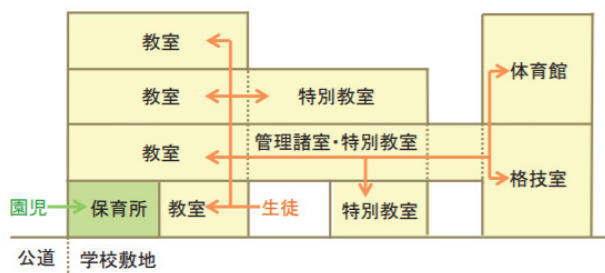
■こだわりの木質

当施設は内装・床の木質化にこだわっている (写真3)。園内を子どもの目の高さから見ると70%が木材であるため、やわらかであたたかみがある感触があり室内の湿度変化を緩和させている。木質は、感染症の拡がりを防ぐだけでなく、ケガも防ぎストレス反応も緩和させることができる。

■英語とのふれあい

頭の柔らかいうちに英語と触れ合うことで、この先コンプレックスを感じることなく英語に慣れ親しめるように、外国人講師と一緒に英語遊びを行っている。遊びの中に英語を組み込みながら自然に英語と触れ合えるよう工夫している。

<立面図>



<配置図>



凡例 □ 中学校 □ 保育所 → 生徒 → 園児

図2. 配置図・立面図 (文部科学省「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～」から引用)

中学生用の門とは別に当園園児専用の門があり、そこから登園する。中学校グラウンドと保育園の園庭との間にはフェンスやネットが設けられている。

■リトミックの導入

楽しく音楽と触れ合いながら、体全体を使って基礎能力の向上を図っている。また音楽に注意を向けることで集中力を高めることができる。

■食育の促進

給食は園内で手作りで作っている（写真5）。また、食材は国産のみの使用にこだわっている。「食」を保育の一環と考え、さまざまな食育体験ができるよう四季に応じた食物を提供している。

■モンテッソーリ教育の導入

イタリアで発祥したモンテッソーリ教育は、「子どもの自主性をサポートする」ことや「体験を共感する」ことを重視している。当施設でも、子どもの知能・感覚を育む一環として、モンテッソーリ教育に基づいた教具（写真4）を導入している。

■隣接中学校との交流・連携

隣接する砧南中学校の体育祭に毎年親子で招待され参加している。中学校の教諭や生徒が夏ボランティアとして保育支援を経験したり、家庭科の授業の一環として保育活動を受け入れ、学習単位として活用したりしている。

■近隣高齢者施設との交流

子どもたちの制作物などを高齢者施設に貸し出して見てもらったり、子ども好みのハロウィン衣装を身につけ高齢者施設を訪問し、歌と踊りを披露し、交流を楽しんだりしている。

■その他地域交流・連携

地域に密着した近隣農家でのじゃがいも掘りや枝豆の収穫やスーパー、農協への買い物体験をしている。その他にも、子どもたちが描いた絵を貸し出し、近隣の建設現場の仮囲いに装飾として使ってもらっている。



写真4. 子どもの玩具

モンテッソーリ建具を導入し、子どもの自主性のサポートや体験を共感することを取り入れている。



写真5. 厨房

給食は毎日厨房で手作りで作られている。



写真6. 園庭

中学校の校庭との間にはフェンスとネットが設けられており安全の確保がなされている。